

道路や河川の維持管理

道路

道路を常に安全で快適に通行していただくために、次のような業務を行っています。

- 1 道路のパトロール
- 2 損傷した路面や側溝等の補修
- 3 橋梁、照明、標識等の点検・補修
- 4 路面の清掃
- 5 路肩等の草刈りや街路樹の剪定
- 6 積雪時の除雪や路面凍結防止対策



河川

洪水等に備え、河川の正常な機能を維持するとともに、県民の憩いの場として安全で快適に利用していただくために、次のような業務を行っています。

- 1 河川のパトロール
- 2 損傷した堤防の補修
- 3 護岸、床固め等の構造物の点検・補修
- 4 堤防等の草刈りや清掃
- 5 油流入等による異常水質事故の対応



許認可事務

》01 道路法

1 道路占用許可

道路を使用(占用)する場合には、許可が必要となります。

2 道路工事施行承認

道路の法面埋立て、歩道切り下げ等による車両乗入口の設置、取付け道の設置等、県が管理する道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要となります。

》02 河川法

河川区域内において土地を使用(占用)したり制限行為(盛土、切土等)を行う場合や、河川保全区域内において制限行為を行う場合には、許可が必要となります。

》03 砂防法等

次の区域内で制限行為(盛土、切土等)を行う場合には、各法律に基づく許可が必要となります。

- 1 砂防指定地(砂防法)
- 2 急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)
- 3 地すべり防止区域(地すべり等防止法)

》04 土砂災害防止法

土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。



》05 都市計画法

都市計画施設の区域又は市街地開発事業の施行区域内において、建築物を建築しようとする場合は、都市計画法第53条に基づく許可等が必要となります。

壬生町、野木町の都市計画法第53条の申請・届出の審査は土木事務所で行います。
申請・届出の受付窓口は以下のとおりです。

| 所管町 | 受付窓口 | | |
|-----|------|-------|-------|
| 壬生町 | 壬生町 | 都市計画課 | 都市計画係 |
| 野木町 | 野木町 | 都市整備課 | 都市開発係 |

※栃木市、小山市、下野市の申請・届出の受付窓口及び審査は市で行います。

》06 建設業法(経理担当)

建設業を営むには、軽微な建設工事を除き、許可が必要となります。

届出関係事務

》01 建設リサイクル法(公共工事)

下野市、壬生町、野木町における右表の対象建設工事については、分別解体及び再資源化等が義務付けられています。

工事着手7日前までに届出が必要です

| 工事の種類 | 規模の基準(m) |
|------------------------|----------|
| 建築物の解体 | 80㎡以上 |
| 建築物の新築・増築 | 500㎡以上 |
| 建築物の修繕・模様替(リフォーム等) | 1億円以上 |
| 建築物以外のものの解体・新築等(土木工事等) | 500万円以上 |

》02 栃木県景観条例

壬生町、野木町における次のような行為は、栃木県景観条例に基づく届出が必要です。

※受付窓口は各町

- 一定基準を超える高さや建築面積の建築物
- 一定基準を超える高さや築造面積の工作物
- 一定基準を超える面積の開発行為

危機管理・防災ポータルサイト

●防災に関する普段からの対策や備え、県の施策や各種計画などが調べられるほか、最寄りの避難所検索もできる栃木県の防災総合ページです。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/bousai/index.html>



同サイト内の「リアルタイム情報」

●以下の情報が調べられます。
・気象情報、地震情報、大雨・洪水・土砂災害危険度分布(キキクル)、河川水位情報(河川水位情報・洪水予報・河川ライブカメラ)、道路交通情報 など

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/bousai/realtime/index.html>



●県土整備部の仕事や技術情報について多くの方に興味を持っていただくため、SNSにより様々な情報を配信しています



栃木県土チャンネル



YouTube (栃木県土ちゃんねる)



栃木県土整備部



X (旧Twitter) (栃木県土整備部)



栃木県栃木土木事務所

〒328-8504 栃木県栃木市神田町6-6

TEL0282-23-3433 FAX0282-23-3544

小山詰所

〒323-0811 栃木県小山市犬塚3-1-1

TEL0285-22-0272 FAX0285-22-4147

最新の情報はインターネットで

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h55/index.html>



ホフマン館とメタセコイアと煉瓦窯 (野木町)



うずまの鯉のぼり (栃木市)

令和8(2026)年度 Tochigi Civil Engineering Office Guide

栃木土木事務所ガイド



とちまるくん
とちぎとほくver.



グリムの森イルミネーション (下野市)



間々田のじゃがまた (小山市)



農産物直売所+Lachic marche (壬生町)

とちぎの未来を築く 県土づくりを進めます

当事務所は、群馬県、埼玉県、茨城県と県境を接する栃木県南部に位置し、栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町の3市2町の区域を管轄しています。

管内の面積は約669km²で県全体の約10%、人口は約44万人で約23%を占めています。

地形は、北西部の一部が山間・丘陵地ですが、他は概ね平地となっており、南西部には、首都圏の洪水対策を目的とする渡良瀬遊水地があります。なお、この遊水地は平成24年7月にラムサール条約に登録されています。

管内の交通網は、鉄道は、南北にJR東北新幹線、宇都宮線、東武日光線、宇都宮線、東西にはJR両毛線、水戸線が通り、小山駅や栃木駅を中継点として、東京方面や茨城県、群馬県から県内各地、さらには東北方面とを結んでいます。

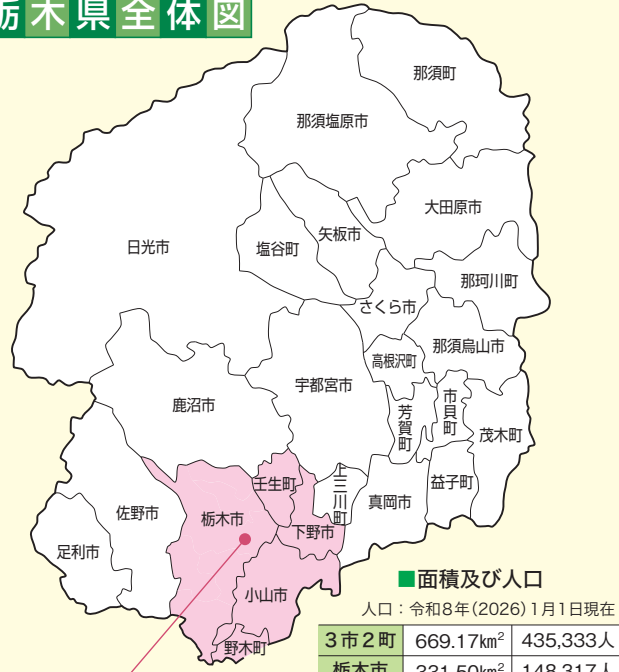
また、道路は、南北に走る東北自動車道、国道4号、新4号国道と、東西に走る北関東自動車道、国道50号が管内で交差しており、当事務所では、それらの広域幹線道路網を補完する道路として、国道3路線を含む72路線、約500kmのネットワークを管理しています。

河川は、利根川水系に属する国の直轄管理河川が鬼怒川など5河川あり、当事務所では、それらの直轄河川に接続する思川、巴波川、永野川など23河川、約200kmを管理しています。

砂防指定地には、渡良瀬川流域99箇所が指定されており、急傾斜地崩壊危険区域には18箇所が指定されています。

都市計画の状況は、管内全域が都市計画区域で県全体の約35%、市街化区域は約92km²で県全体の約30%を占めています。

栃木県全体図



栃木土木事務所

| 面積及び人口 | | |
|---------------------|-----------------------|----------|
| 人口：令和8年(2026)1月1日現在 | | |
| 3市2町 | 669.17km ² | 435,333人 |
| 栃木市 | 331.50km ² | 148,317人 |
| 小山市 | 171.75km ² | 165,878人 |
| 下野市 | 74.59km ² | 58,692人 |
| 壬生町 | 61.06km ² | 38,323人 |
| 野木町 | 30.27km ² | 24,123人 |

栃木県に占める割合

| 区分 | 栃木県(A) | 事務所管内(B) | B/A (%) | 備考(調査年月日) |
|------------------|-------------------------|-----------------------|---------|----------------|
| 面積 | 6,408.09km ² | 669.17km ² | 10.4 | 令和8(2026)年1月1日 |
| 人口 | 1,862,483人 | 435,333人 | 23.4 | 令和8(2026)年3月1日 |
| 市町村数 | 25市町 | 5市町 | 20.0 | 令和8(2026)年4月1日 |
| 県管理国道 | 路線数 | 12路線 | 25.0 | 令和7(2025)年4月1日 |
| | 延長 | 690,274m | 4.2 | 〃 |
| | 舗装率 | 99.6% | — | 〃 |
| | 改良率 | 98.8% | — | 〃 |
| 県道 | 路線数* | 290路線 | 23.8 | 〃 |
| | 延長* | 2,825,565m | 16.4 | 〃 |
| | 舗装率* | 96.7% | — | 〃 |
| | 改良率* | 88.9% | — | 〃 |
| | 自転車道路線数 | 3路線 | 66.7 | 〃 |
| 自転車道延長 | 53,463m | 17.3 | 〃 | |
| 県管理国道及び県道における橋梁数 | 2,797橋 | 347橋 | 12.4 | 〃 |
| 県管理一級河川 | 河川数 | 292河川 | 7.9 | 令和8(2026)年4月1日 |
| | 延長 | 2,474.82km | 8.2 | 〃 |
| 砂防指定地 | 箇所数 | 1,630箇所 | 6.1 | 〃 |
| | 面積 | 7,299.55ha | 4.6 | 〃 |
| 急傾斜地崩壊危険区域 | 箇所数 | 287箇所 | 6.3 | 〃 |
| | 面積 | 400.43ha | 7.4 | 〃 |
| 地すべり防止区域 | 箇所数 | 20箇所 | 5.0 | 〃 |
| | 面積 | 313.39ha | 1.8 | 〃 |
| 県営住宅数 | 7,220戸 | 1,095戸 | 15.2 | 〃 |
| 都市計画区域 | 413,344ha | 63,717ha | 15.4 | 〃 |
| 市街化区域 | 30,369ha | 9,162ha | 30.2 | 〃 |
| 用途地域 | 39,123ha | 9,303ha | 23.8 | 〃 |

※公社管理を除く

栃木土木事務所の基本方針

基本姿勢

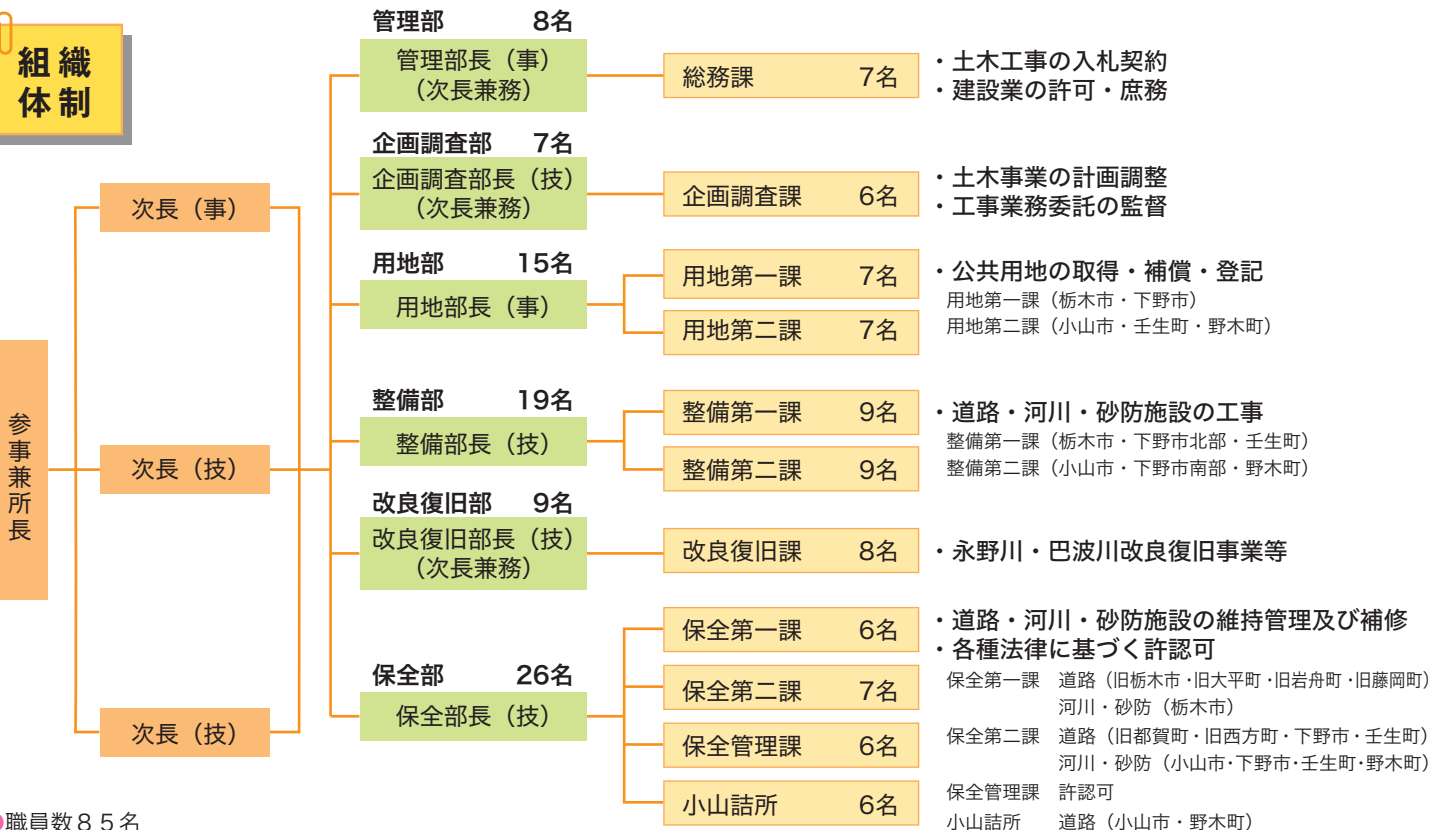
- 姿勢1 地域活性化・危機管理の拠点としての機能強化**
 - 地域の要望に対する的確な対応と管内市町との連携強化を図ります。
 - 地域の守り手となる建設業界との連携強化を図ります。
 - 異常気象時等における関係機関との連携強化を図ります。
- 姿勢2 社会インフラの整備・管理の推進**
 - 暮らしや産業・観光を支え、災害に強い強靱な道路ネットワークの構築に努めます。
 - 自然災害から県民の命と暮らしを守る安全安心な社会インフラの構築に努めます。
 - 令和元年東日本台風災害からの迅速な改良復旧に努めます。
- 姿勢3 環境保護と経済成長の両立を目指す施策の推進**
 - DXやGXの推進に取り組み、持続可能な社会の構築に努めます。

重点的に取り組む事業

- 事業1 安全・安心な基盤づくり**
 - 河川改修、土砂災害防止施設の整備を実施します。
 - 緊急輸送道路・道路冠水箇所の整備・保全、河川・砂防施設の堆積土除去・急傾斜地対策を実施します。
 - 通学路の歩道整備、自転車通行区間の整備、事故危険箇所対策を実施します。
 - 道路・河川・砂防施設の点検・診断・評価を定期的に行い、長寿命化対策に向けた計画的な修繕・更新を実施します。
- 事業2 成長・発展を支えるネットワークづくり**
 - 産業・経済の成長を支える活発な人と物の流れをつくるため、幹線道路網の整備推進や、渋滞対策、スマートIC整備に向けた支援を実施します。
- 事業3 魅力的で活力あふれる地域づくり**
 - 地域の魅力を高める「景観づくり」を推進するため、無電柱化や水辺に親しむことができる良好な河川空間の整備を実施します。



組織体制



●職員数85名
(市町からの派遣職員6名を含む)

●その他の職員数18名
(用地事務支援員3名、道路河川監視員7名、事務補助員3名、事務・作業補助員1名・業務支援員4名)

令和8(2026)年4月1日現在

1 栃木市今泉町、小山市卒島
都市計画道路
3・3・3号 小山栃木都賀線

●全体計画/延長=7,200m 幅員=25.0~33.0m
事業費=102億円

小山市から栃木市街地の東部を經由し北関東自動車道都賀ICを結ぶ、栃木西部都市連絡幹線の一部を構成する道路の新設事業です。
今年度は、栃木市今泉町での用地取得・工事、および小山市卒島地内での工事をそれぞれ推進します。

2 下野市上古山(下野スマートIC関連)
主要地方道
羽生田上蒲生線

●全体計画/延長=580m 幅員=8.0m
事業費=5億円

NEXCO東日本と下野市が整備を進めている「北関東自動車道(仮称)下野スマートIC」事業の関連事業として、主要地方道羽生田上蒲生線を一体的に整備することにより、スマートICへのアクセス性向上と、当該路線の安全で信頼性の高い輸送道路の確保を目的としています。
今年度は、NEXCO東日本と工程調整を図りながら、工事を推進します。

3 小山市栗宮アンダー
主要地方道
小山環状線

●全体計画/延長=760m 幅員=17.5~35.5m
事業費=100億円

主要地方道小山環状線は、小山市街地の環状道路です。本事業では、小山市を縦断するJR宇都宮線の踏切を解消するため、アンダーパスを整備します。これにより、小山市全体の交通利便性向上、小山市西部と二次救急医療機関である新小山市民病院へのアクセス性向上を図り、平常時・災害時を問わず、安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されることを目的としています。
今年度は、用地取得及び設計を推進します。

4 野木町 潤島 ~ 小山市 平和
一般県道
境間々田線

●全体計画/延長=2,400m 幅員=15.0~16.0m
事業費=15億円※県整備区間

一般県道境間々田線は、野木町と小山市の市街地を結ぶ幹線道路であり、小山市が進める栗宮大規模産業団地への一次アクセス道路です。本事業では、新たに向市町の中心市街地を結ぶ道路を整備することから、更なる交通の利便性向上を図るとともに、並行している国道4号の渋滞緩和を目的としています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。

5 栃木市大宮町 第二工区
主要地方道
栃木二宮線

●全体計画/延長=3,600m 幅員=15.5m
事業費=27億円

主要地方道栃木二宮線は、栃木市と真岡市を結ぶ幹線道路であり、交通量が非常に多い路線です。しかし、現道幅員が狭小で屈曲しており見通しが悪く、歩道も未整備であることから、本事業では、新たなバイパス道路を整備することにより、道路を利用するすべての方が安全・安心で快適な交通確保ができることを目的としています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。

6 壬生町若草町~下野市下古山
都市計画道路
3・3・901号
おもちゃのまち下古山線

●全体計画/延長=2,600m 幅員=22.0~25.0m
事業費=75億円

壬生町・下野市間を繋ぐ東西交通の軸となる幹線道路です。おもちゃのまち跨線橋周辺から下野市下古山地内平成橋周辺における渋滞緩和と歩行者・自転車の安全な通行空間を確保するため、道路の拡幅整備を進めています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。

7 小山市 乙女大橋
主要地方道
藤岡乙女線

●全体計画/橋長=370m 幅員=13.0m
事業費=45億円

主要地方道藤岡乙女線の乙女大橋は、一級河川思川に架かる橋梁です。本事業では、架橋後70年が経過し老朽化が著しく点検・診断の結果、大規模更新が必要となったため、下流側に架け替えることを目的としています。
今年度は、橋梁上部工事及び下部工事、道路改良工事を推進します。

8 野木町矢畑
一般県道
東野田古河線

●全体計画/延長=1,100m 幅員=10.25~12.5m
事業費=9億円

一般県道東野田古河線は小山市と古河市を結ぶ幹線道路です。当該箇所は交通量が多く、二次緊急医療に指定された友愛記念病院へのアクセス道路であることから、地域住民の安全と円滑な交通の確保が求められています。
今年度は、用地取得及び工事を推進します。

令和8(2026)年度の主な河川・砂防事業

9 小山市 押切
一級河川
杉井木川

●全体計画/排水機場・調節池
事業費=33億円

一級河川3河川(巴波川、永野川、杉井木川)が合流する当該地区は、近年浸水被害が多発しています。本事業は、浸水被害軽減を目的とし、排水機場増強及び調節池整備を進め、令和5年度には排水機場の運用を開始しました。
今年度は、調節池の築堤、護岸工事を推進します。

10 小山市 乙女郷戸
一級河川
思川

●全体計画/河道掘削量=約60万m³
事業費=40億円

一級河川思川は流路延長77.8km、流域面積883km²の県内屈指の大川で、治水上においても極めて重要な河川です。本事業では、昭和26年より河川改修事業を推進しており、流下能力の向上を目的に河道掘削を行っています。
今年度は、引き続き河道掘削を推進します。

11 栃木市 大平町西水代~皆川城内町
一級河川
永野川

●全体計画/延長=10,600m
事業費=281億円

令和元年東日本台風の水害により被災した一級河川永野川では、再度災害防止を図るため、栃木市大平町から皆川城内町の間において、改良復旧工事に取り組んでいます。
今年度は、護岸工事、橋梁架替、用地取得を推進します。

12 栃木市万町ほか
一級河川
巴波川

●全体計画/・地下排水路 延長=2,400m 事業費=178億円
・上流部 延長=1,600m 事業費=38億円
・下流部 延長=9,200m 事業費=22億円

令和元年東日本台風等の水害により甚大な浸水被害が発生した一級河川巴波川では、栃木市中心市街地において地下排水路(地下トンネル河川)整備、上流部(大町工区)において護岸・遊水地整備、下流部(国道50号~平成橋)では河川整備事業を進めています。
今年度、地下排水路整備事業ではシールド工事、流入・流出施設工事、上流部では用地取得、下流部では河道掘削工事を推進します。

13 栃木市平井町
砂防堰堤
六角堂一号沢

●砂防堰堤工
延長=55.3m 事業費=2億円

本地区は、流域面積0.054km²、土石流危険渓流である。被害想定区域には(一)太平山公園線、國學院大学栃木学園、人家96戸、連祥院六角堂、信行寺などがある。渓流内には不安定な土砂が堆積し豪雨等により下流に流出するおそれがあることから、砂防堰堤事業を進めています。
今年度は、管理用通路の一部工事を推進します。

14 小山市北飯田
一般県道
福良羽川線

●全体計画/全体延長=1,300m 幅員=9.5m
事業費=4.1億円

一般県道福良羽川線は小山市福良を起点とし、新4号国道を經由して、小山市羽川へ至る幹線道路です。本工区は幅員が狭小なため車両のすれ違いの際に自転車や歩行者等が危険にさらされていました。ゆうゆう路肩の整備により、安心して通行が可能となる歩行空間が整備されました。

15 下野市谷地質橋
一般県道
下野二宮線

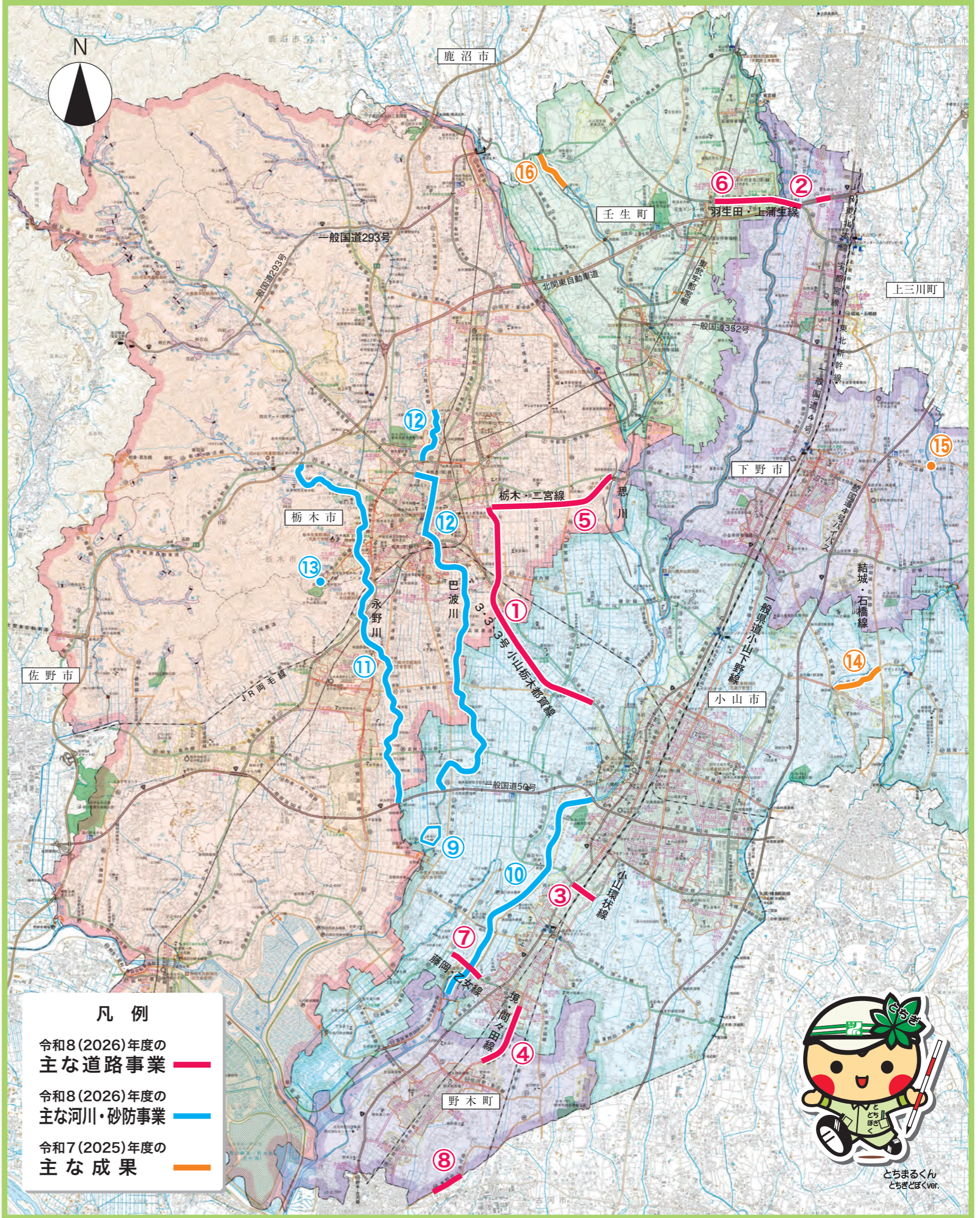
●全体計画/全体延長=53.0m 幅員=8.0m
事業費=1.3億円

一般県道下野二宮線の谷地質橋は、一級河川田川に架かる鋼製橋梁です。架橋から50年が経過し、橋梁点検等を実施した結果、橋梁の補修が必要であると判定されました。
県民の安全で安心な通行を確保するため、令和4年度から令和7年度にかけ、橋面舗装修繕や断面補修、塗装の塗替等の補修工事を実施しました。

16 壬生町七ツ石
一級河川
黒川

●全体計画/延長=1,330m
事業費=1.8億円

一級河川黒川の七ツ石地区は、一部において無堤防の区間があり、また、堤防高さも不足している区間があったことから、豪雨時の外水氾濫の低減を目的に、堤防強化による整備を進めてまいりました。



令和7(2025)年度の主な成果

12 栃木市万町ほか
一級河川
巴波川

●全体計画/・地下排水路 延長=2,400m 事業費=178億円
・上流部 延長=1,600m 事業費=38億円
・下流部 延長=9,200m 事業費=22億円

令和元年東日本台風等の水害により甚大な浸水被害が発生した一級河川巴波川では、栃木市中心市街地において地下排水路(地下トンネル河川)整備、上流部(大町工区)において護岸・遊水地整備、下流部(国道50号~平成橋)では河川整備事業を進めています。
今年度、地下排水路整備事業ではシールド工事、流入・流出施設工事、上流部では用地取得、下流部では河道掘削工事を推進します。

13 栃木市平井町
砂防堰堤
六角堂一号沢

●砂防堰堤工
延長=55.3m 事業費=2億円

本地区は、流域面積0.054km²、土石流危険渓流である。被害想定区域には(一)太平山公園線、國學院大学栃木学園、人家96戸、連祥院六角堂、信行寺などがある。渓流内には不安定な土砂が堆積し豪雨等により下流に流出するおそれがあることから、砂防堰堤事業を進めています。
今年度は、管理用通路の一部工事を推進します。

15 下野市谷地質橋
一般県道
下野二宮線

●全体計画/全体延長=53.0m 幅員=8.0m
事業費=1.3億円

一般県道下野二宮線の谷地質橋は、一級河川田川に架かる鋼製橋梁です。架橋から50年が経過し、橋梁点検等を実施した結果、橋梁の補修が必要であると判定されました。
県民の安全で安心な通行を確保するため、令和4年度から令和7年度にかけ、橋面舗装修繕や断面補修、塗装の塗替等の補修工事を実施しました。

16 壬生町七ツ石
一級河川
黒川

●全体計画/延長=1,330m
事業費=1.8億円

一級河川黒川の七ツ石地区は、一部において無堤防の区間があり、また、堤防高さも不足している区間があったことから、豪雨時の外水氾濫の低減を目的に、堤防強化による整備を進めてまいりました。

